

プレゼンテーション集中講座サマリー(4)

平成 24 年 10 月 25 日

今回は、プレゼンテーションでのジョークを披露するコツや質疑応答についての授業でしたが、本シンポジウムでは発表時間が五分と短いこともあり、ジョークで笑いをとることは必ずしも必要とされません。そこで今回のサマリーは、質疑応答のコツやテクニックについて詳しくまとめています。本番前の練習にもご活用下さい。

.....
発表者がプレゼンテーションを終えると、5 分間の質問時間があります。基本的には観客席から質問が出ますが、他に質問者がいない場合はチェアパーソンが質問をすることもあります。

1. 大原則 (Bolstad 先生推奨)

- ・ 質問に回答するときの第一声は、"Thank you for your question"
- ・ 回答し終えたら、"Does that answer your question?" と言う (任意)。

2. 質問を聞き返す

- ・ Excuse me, would you please repeat it?
- ・ Could you speak a little louder?

<アドバイス>

フォーマルな質疑応答ですので、**Would you** や **Could you** を使うと丁寧です。1、2 回の聞き直しは問題ありません。質問内容を十分に理解した上で答えて下さい。

3. 質問を確認する

- ・ Do you mean that...?
- ・ Are you asking that...?
- ・ I understand that your question is...Am I right?

<アドバイス>

質問を自分の言葉で表現し直すことは有効なテクニックの一つです。質問を別の言葉で表現することで、相手の質問を正しく理解しているかどうかを確認することができます。質問を聞き返してもあまり理解できないときは、このようにすると何度も聞き返しをせずにすむため印象が良くなります。

4. すでに発表した内容について聞かれたとき

- ・ As I said/explained in the presentation...
- ・ If you go back to p. 2 on my slide/ the second slide, you will find/see that...

<アドバイス>

該当するスライドを同時に見せると丁寧です。スライドに番号をつけ、各スライドにどのような内容が書かれているかを事前に把握しておくといいかもしれません。

5. 論文の細かい内容を聞かれて、5分以内では答えられないとき

①「後で聞いて下さい」タイプ

- ・ I will be happy to answer your question later/individually/after this session, since at this moment I do not have enough time.
- ・ I am afraid there is not enough time to give a good answer now. I would be happy to discuss it with you later.
- ・ I need some time to consider that question. Could I discuss it with you after this session?
- ・ To give you a quick answer, the answer is yes. If you would like to know the detail, would you please come and talk to me after the presentation? I would be happy to show you why the answer is yes.

②「～を参照して下さい」タイプ

- ・ I am sorry, at this moment, I cannot provide you with the information. I am sure that I have the information on my paper/back at the research center. I would be pleased to email to you if you like.
- ・ That is a good question, but about the detail, could you refer to my paper/article?

<アドバイス>

質問に対して誠実に答えたい気持ちは分かりますが、どちらかというと簡潔・簡明に回答して5分間の質疑応答時間を乗り切ることが求められているようです。

6. 自分の研究の範囲外のことや、調べていないことを聞かれたとき

- ・ At the moment, I have not done any research on that issue. It's a very interesting question. So if you do the research, I would love to hear your answer.
- ・ I am afraid this is outside my research. However, your question is very good. I am sure that your question will help me improve my future research.

<アドバイス>

"I have no idea"や"I cannot answer your question because it's outside my area of research"ではあまりに素っ気ない答えなので、質問者に気分良く帰ってもらうためにも、「この質問には興味がある、今後の研究に生かしたい」という表現をすると印象がよいかもしれません。

7. 一人の質問者が一度に複数の質問をしたとき

- ・ Please let me check your questions. First, you are asking~, and second, you are asking~. Is that correct?

<アドバイス>

一人が複数の質問をすることは学会ではよくあるようです。上のように質問を確認できればベストですが、実際には、まず一つ目の質問に答え、二つ目の質問を聞き直しても大丈夫だと思います。